# 解答: 連立方程式を加減法で解く

MomentDesk · https://momentdesk.com/ja/practice/systems-elimination/

中2 数学

1. x = 2 / y = 1

   二つの式をたすとyが消え、3x = 6。x = 2を元の式へ戻すとy = 1。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

2. x = −1 / y = 4

   第1式から第2式をひくとyが消え、2x = −2。x = −1を元の式へ戻すとy = 4。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

3. x = 3 / y = −2

   二つの式をたすとyが消え、5x = 15。x = 3を元の式へ戻すとy = −2。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

4. x = −2 / y = 3

   第2式から第1式をひくとyが消え、x = −2。x = −2を元の式へ戻すとy = 3。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

5. x = 4 / y = 1

   第1式を2倍、第2式を−3倍してたすとyが消え、−5x = −20。x = 4を元の式へ戻すとy = 1。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

6. x = −3 / y = −1

   第1式を3倍、第2式を2倍してたすとyが消え、13x = −39。x = −3を元の式へ戻すとy = −1。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

7. x = 1 / y = −4

   第1式を−3倍、第2式を−1倍してたすとyが消え、−14x = −14。x = 1を元の式へ戻すとy = −4。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

8. x = −4 / y = 2

   第1式を−2倍、第2式を3倍してたすとyが消え、5x = −20。x = −4を元の式へ戻すとy = 2。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

9. $x = \frac{1}{2}$ / $y = \frac{3}{2}$

   第1式を3倍、第2式を−4倍してたすとyが消え、1x = 1/2。x = 1/2を元の式へ戻すとy = 3/2。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

10. $x = -\frac{1}{2}$ / $y = \frac{5}{2}$

    第1式を2倍、第2式を3倍してたすとyが消え、13x = −13/2。x = −1/2を元の式へ戻すとy = 5/2。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

11. $x = \frac{3}{2}$ / $y = -\frac{1}{2}$

    第1式を−2倍、第2式を−3倍してたすとyが消え、−17x = −51/2。x = 3/2を元の式へ戻すとy = −1/2。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

12. $x = -\frac{3}{2}$ / $y = -\frac{1}{2}$

    第1式を−3倍、第2式を−2倍してたすとyが消え、−13x = 39/2。x = −3/2を元の式へ戻すとy = −1/2。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

13. x = 5 / y = 3

    第1式を−2倍、第2式を−5倍してたすとyが消え、−19x = −95。x = 5を元の式へ戻すとy = 3。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

14. x = −2 / y = 5

    第1式を3倍、第2式を2倍してたすとyが消え、19x = −38。x = −2を元の式へ戻すとy = 5。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

15. x = 6 / y = −1

    第1式を−3倍、第2式を−4倍してたすとyが消え、−25x = −150。x = 6を元の式へ戻すとy = −1。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

16. x = −5 / y = −2

    第1式を5倍、第2式を3倍してたすとyが消え、26x = −130。x = −5を元の式へ戻すとy = −2。二つの式へ代入して確かめます。別の正しい消去の仕方も使えます。

## 記述問題の解答・確認の観点

2x + 3y = 1、3x − 2y = 8を加減法で解き、消した文字がわかる途中式を書いてください。
第1式を2倍、第2式を3倍すると4x + 6y = 2、9x − 6y = 24。たすと13x = 26。x = 2、y = −1。
両辺を倍しているか、消去後の式、戻す操作と確認を見ます。xを先に消す方法も認めます。

$x - 2y = -5$を3倍した式が$3x - 6y = -5$となっています。誤りを直し、右辺にも同じ操作が必要な理由を説明してください。

$3x - 6y = -15$。等しい二つの量を同じ3倍にするので、右辺も3倍します。

式全体を倍する意味を説明しているか確認します。

$3x + 2y = 13$、$x + 2y = 7$をひいて$2x + 4y = 6$としました。誤りを直し、解いてください。

$(3x + 2y) - (x + 2y) = 13 - 7$より$2x = 6$。$x = 3$、$y = 2$。

後の式全体をひくこと、$2y - 2y = 0$、二式への確認を見ます。